

PLC-07【在庫：棚卸】棚卸実施要領（半期棚卸）

東都マニュファクチャリング株式会社（架空）
本資料は内部統制テスト用のダミーエビデンスです（架空データ）。

1. 目的・範囲

本要領は、半期に一度実施する現物棚卸の手順を定め、システム在庫との差異の把握、理由分析、棚卸差損益の適切な計上承認を目的とする。

対象：本社第1倉庫・第2倉庫（原材料／仕掛品／製品）／対象期間：2025年10月～2025年12月

2. 役割分担（職務分離）

役割	担当部門	主な作業	留意点
棚卸統括	物流部（倉庫長）	棚卸計画策定、実施統括	棚卸中の入出庫を停止する
カウント担当	物流部・製造部（応用）	現物数量のカウント	訂正は訂正線＋サイン
差異分析	経理部 原価チーム	差異原因の分類・金額算定	単価マスターとの整合を確認
承認	物流部長／経理部長	差異分析結果・差損益計上の承認	重大差異はCFO報告

3. 実施手順（概要）

- 棚卸対象リスト（システム在庫）を確定（棚卸前日 18:00）
- 棚卸区画の封印・入出庫停止
- 二重カウント（1回目：カウント、2回目：検算）
- 差異一覧の作成（システム数量との差分）
- 差異理由の分析（誤出荷、未計上入庫、ラベル誤貼付、廃棄未処理 等）
- 棚卸差損益の算定・仕訳起票
- 物流部長・経理部長の承認後、月次決算に反映